

令和 7 年度
琉球大学大学院 保健学研究科（博士前期課程）
学生募集要項

一般選抜、社会人選抜

	第 1 次募集	第 2 次募集
出願期間	令和 6 年 8 月 26 日～8 月 30 日	令和 7 年 1 月 20 日～1 月 24 日
試 験	令和 6 年 9 月 21 日	令和 7 年 2 月 17 日
合格者発表	令和 6 年 10 月 21 日	令和 7 年 3 月 13 日

外国人学生特別選抜

出願期間	令和 6 年 8 月 26 日～8 月 30 日
試 験	令和 6 年 9 月 21 日
合格者発表	令和 6 年 10 月 21 日

アジア太平洋地域の近未来的実践公衆衛生人材・育成プログラム（特別プログラム）

出願期間	未定（令和 6 年 7 月掲載予定）
試 験	未定（令和 6 年 7 月掲載予定）
合格者発表	未定（令和 6 年 7 月掲載予定）

令和 6 年 6 月
琉球大学大学院 保健学研究科

目 次

1. 研究科概要	1
2. 募集人員	4
3. 出願資格	4
4. 出願資格審査	5
5. 出願期間	6
6. 出願手続	6
7. 研究指導に関する事前相談	10
8. 試験の日時及び場所	10
9. 選抜方法（入試科目）	10
10. 障がい等のある入学志願者（受験時における合理的配慮等）	11
11. 合格者発表	12
12. 入学手続等	13
13. 安全保障輸出管理	13
14. 修学のための諸制度	13
15. 個人情報の取扱い	15
16. 2次募集	15
17. 問い合わせ先	15
18. 入試統計（志願者数、合格者数）の公開	15
19. 過去問の開示	16
20. 令和7年度アジア太平洋地域の近未来的実践公衆衛生人材・育成プログラム （特別プログラム）	17
21. 研究指導教員一覧	18

1. 研究科概要

(1) 3つのポリシー

【アドミッション・ポリシー】

21世紀日本の超高齢社会における最重要課題は健康・長寿です。沖縄県は世界でも長寿地域として注目されていますが、近年は健康長寿の存続が危惧されています。また、熱帯・亜熱帯地域における国々では感染症さらには生活習慣病が大きな疾病負担となっています。これらの健康増進に関連した熱帯・亜熱帯地域に特有な健康問題解決を目的とする諸科学を統合した総合科学としての保健学的アプローチの研究・実践の場として琉球大学は最適の場所に位置しています。

1. 教育理念・目的

広い視野に立って精深な学識を授け、心身ともに豊かな健康・長寿に資する高度な研究能力を有する保健学分野の研究者及び指導者を養成することを目的としています。

2. 求める学生像

[一般選抜・社会人特別選抜]

- ①保健学分野における学士としての高度な専門的知識と技術を有する人。
- ②保健学関連分野における諸問題に強い関心をもち、主体的に協働しながら、様々な課題解決に取り組む意欲を有する人。
- ③保健学関連分野における広い視野に立った研究能力を有する保健学関連分野の教育・研究者及び指導者を目指す人。
- ④保健学分野の高度な専門的知識と技術をさらに深く学ぼうとする人。
- ⑤専門的な知識や技術を活かして、地域および国際社会にリーダーとして貢献したい人。
- ⑥保健学分野の高度専門職業人を目指す人。 例：専門看護師、養護教諭（専修免許）、研究開発能力を有する臨床検査技師
- ⑦保健学関連分野の諸問題に強い関心を持ち、強い探究心を持って様々な課題について研究する意欲を有する人。

[社会人特別選抜]

教育・研究機関、官公庁、企業等で専門分野についての研究に関連した現業に従事しており、さらに高度な研究に取り組む意欲を有する人。

[外国人学生特別選抜]

母国及び日本等の発展に寄与でき、かつ日本との間の懸け橋になれる人。

3. 入学者選抜の基本方針

研究科の特性に応じた選抜を実施し、多様な背景を持つ学生を選抜します。

[一般選抜・社会人特別選抜]

一般選抜・社会人特別選抜では、探求する姿勢と実践する能力の側面を重視し、保健医療に貢献するよりよい人材のために実施します。

保健学に関する様々な課題について、科学的に探究し、実践していく基礎的能力を有するかを、専門試験（必須科目、選択科目）、英語試験、面接等によって評価します。

面接を課すとともに、研究計画書等の出願書類も踏まえ、保健学の専門分野に関する高度な知識・能力、適性・意欲等を評価します。

[外国人学生特別選抜]

外国人学生特別選抜では、母国等におけるこれまでの経歴や実績の側面を重視し、基礎的能力を有するかを確認するために実施します。

保健学に関する様々な課題について、科学的に探究し、実践していく基礎的能力を有するかを、小論文、面接等によって評価します。

コミュニケーション能力を小論文、面接、語学試験の結果等によって評価します。

【カリキュラム・ポリシー】

[教育課程編成の方針]

本プログラムでは、ディプロマ・ポリシーに基づいて、知識・技能・態度の能力を修得させるために、以下に示す方針に基づいて2年間一貫した教育課程を編成・実施します。

必修科目及び選択科目を体系的に編成します。教育課程については、カリキュラム・マップやナビリングを用いてその体系性や構造を明示します。

- ・保健学分野の幅広い領域に対応できる能力を習得するため、基盤となる専攻共通科目「保健学研究方法」及び「保健学特論」を開講します。
- ・専攻分野の専門性に基づき、人間健康開発学領域、国際島嶼保健学領域の領域ごとに科目を設置します。
- ・指導教員を配し、個々の学生のニーズに応じたきめ細かな研究指導を行います。

[教育課程における教育・学習方法に関する方針]

講義科目、演習科目その他の適切な授業形態を組み合わせ、各授業科目を必修科目、選択科目などに分け各年次に配当し、授業形態に応じて、学生が主体的な学びを実践できるよう効果的な教育方法を取り入れます。

研究指導は、研究指導の方法・内容及び1年間の研究指導の計画を定め、学生に対してあらかじめ明示し、適切に実施します。

- ・沖縄の特長を活かして、島嶼地域医療及び亜熱帯地域における感染症対策などの高度な専門性や実践力を身に着けるために必要な科目を開講します。
- ・高度な実践力・研究能力を有する看護職育成のための高度専門看護師養成コースを開講します。

[学習成果の評価の方針]

1. 成績評価

成績評価は、「琉球大学における成績評価に関するガイドライン」に基づき、基準となる目標に達成したかを測定できるよう、定期試験、小テスト、レポート及び発表等、多面的に適切な方法を選択又は組み合わせて行います。

具体的には、シラバスにおいて授業内容と方法、達成目標、評価基準と評価方法を明確に提示して客観的に評価するとともに、学生調査結果等を組織的に検証することにより、2年間の学習成果を総合的に評価し、教育の質保証の継続的改善に取り組みます。

2. 学位審査

学位論文の評価は、保健学研究科委員会が選出した主査1人、副査2人で組織される審査会によって学位申請論文（修士論文）の内容を審査し、最終試験（論文発表会）での口頭試問を踏まえ、保健学研究科委員会により「学位論文審査基準」に基づいて学位授与が決定されます。

【ディプロマ・ポリシー】

本プログラムは、琉球大学の「自由平等、寛容平和」の建学の精神の下、本学の大学院学習教育目標 URGCC-Advanced（琉大グローバルシティズン・カリキュラム・アドバンスド）に掲げる「専門性」

「創造性」「倫理性」を身に付けさせるため、研究科の専門分野の特色と人材養成目的に基づいて、広い視野に立って精深な学識を授け、心身ともに豊かな健康・長寿に資する高度な研究能力を有する保健学分野の研究者及び指導者を養成することを目的としています。

そのような人材を育成するために、本大学院教育プログラムでは、所定の課程を修め、必要な単位を修得し、かつ研究指導を受けた上で、修士論文の審査及び試験に合格し、次のような目標を達成した者に、修士の学位を授与します。

1. 国際性豊かな知識・技能を身に付けている。
2. 健康開発・病態解析の科学的評価・研究ができる。
3. 島嶼保健などに必要な知識・能力を身に付けている。

（2）修業年限

標準修業年限は、2年とする。

（3）学位の授与

修士論文の審査及び最終試験に合格し、課程を修了した者には、修士（保健学）の学位を授与する。

2. 募集人員

専攻名	領域名	募集人員（10名）	
保健学専攻	人間健康開発学 国際島嶼保健学	第1次募集 7名程度	第2次募集 3名程度

3. 出願資格

（1）一般選抜

次の各号のいずれかに該当する者とする。

- ① 大学を卒業した者又は令和 7 年 3 月 31 日卒業見込みの者
- ② 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者（大学評価・学位授与機構から学位を授与された者を含む）又は令和 7 年 3 月 31 日までに学士の学位を授与される見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者又は令和 7 年 3 月 31 日修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者又は令和 7 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって 文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和 7 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和 7 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者。
- ⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和 7 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ⑧ 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
- ⑨ 令和 7 年 3 月 31 日時点で大学に 3 年以上在学し、又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本大学院において認めた者
- ⑩ 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって、本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- ⑪ 医療系及び関連の短期大学、専修学校・各種学校（専門課程）等を卒業・修了し、本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、

22歳に達したもの又は令和7年3月31日までに22歳に達する者（4月1日生まれは該当）

※⑨の出願資格により入学した場合、当人の学部学生としての学籍上は「退学」となります。したがって、大学の学部を卒業していることを要件として定められている種々の国家試験等の資格試験は受験できなくなりますので注意してください。

（2）社会人特別選抜

一般選抜に示す条件のいずれかの資格を有する者で、原則として大学卒業後入学予定時までに1年以上の職歴を有する者

（3）外国人学生

次の各号の全てに該当する者とする。

- ① 日本国籍を有しない者
- ② 一般選抜に示す条件のいずれかの資格を有する者
- ③ 「出入国管理及び難民法」における「留学」等修学に対応可能な在留資格を有する者又は入学後に有することができる者

4. 出願資格審査

出願資格の⑨、⑩、⑪に該当する者については、出願資格の事前審査を受ける必要があります。

書類提出期間 令和6年7月8日（月）～令和6年7月12日（金）

提出先 P8提出先と同じ

結果通知 令和6年8月上旬に本人宛に通知

必要書類

必 要 書 類	注 意 事 項	様式指定
① 入学試験出願資格認定申請書	必要事項を記入すること。学歴・職歴をすべて記入すること。	○
② 入学試験出願資格認定履歴書	高等学校等卒業以降の学歴・職歴をすべて記入すること。	○
③ 医療系及び関連の短期大学、専修学校・各種学校（専門課程）等の卒業・修了証明書又は卒業証明書等		
④ 志望理由書	本研究科を志望した理由及び博士前期課程での学習に必要な学力を有していると考えた点を記入すること。	○

⑤ 入学試験出願資格認定論文一覧	研究論文は、既発表のもので施設内発表のもので可。連名で作成された論文の場合は、申請者の担当部分を明記すること。	○
⑥ 業績報告書		○
⑦ 入学試験出願資格認定通知用封筒	宛先を明記し、長形3号の封筒に344円分切手を貼付すること。	
⑧ 戸籍抄本（該当者のみ）	成績証明書及び卒業（見込）証明書等に記載されている氏名と現在の氏名が異なっている者のみ提出すること。	

※出願に際しては、必ず希望する指導教員と連絡を取り出願すること。

※これまで出願資格「有」と認定された者は、資格審査を免除する。

5. 出願期間

令和6年8月26日（月）～8月30日（金）

持参の場合の受付時間 9:00～17:00（12:00～13:00を除く）

（注意事項）

- ・受付期間内に書類が到着しない場合は出願を受理しないので、郵便事情を考慮して十分余裕をもって発送してください。
- ・郵送の場合は必ず「書留速達」とし8月30日（金）17:00までに必着のこと。
- ・受理された書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- ・出願後は、いかなる理由があっても出願事項の変更は認めません。
- ・書類の偽造や内容の改ざん、記載と相違する事実が判明した場合は、入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- ・外国の学校又は機関が作成する書類が日本語又は英語以外の場合は、日本語訳又は英語訳を添付してください。

6. 出願手続

（1）出願書類

出願書類等	摘 要	対象者
① 入学志願票・履歴書 ・受験票・写真票	受験票と写真票には、写真（出願前3か月以内に撮影した上半身、脱帽、正面向きのもの）をそれぞれ貼り付けること。	全員
② 成績証明書	出身大学（学部）長又は短期大学長あるいは専修学校・各種学校長が作成し、厳封したもの。	全員
③ 卒業（見込）証明書	出身大学（学部）長等が作成し、厳封したもの。または、本研究科が作成した入学試験出願資格認定書。	全員

④ 検定料納付証明書 (大学提出用) 及び 振込明細等	検定料 30,000円 詳細は、8 ページ(4) 検定料振込を参照してください。 ※特例措置対象者(10 ページ参照)は、検定料を振込 まず、申請手続きを行ってください。	全員
⑤ 研究計画書	指定の様式に研究計画を記入すること。	全員
⑥ 志願理由書	指定の様式に志願理由を記入すること。	全員
⑦ 受験承諾書	① 他の大学院に在学している者。 ② 在職のまま本研究科に受験し、入学しようとする者。	該当者のみ
⑧ 業績報告書	卒業論文、原著論文、調査研究報告書等を有する者のみ 、その別冊又は概要を提出すること。	該当者のみ
⑨ 戸籍抄本	成績証明書及び卒業(見込)証明書等に記載されている 氏名と現在の氏名が異なっている者のみ提出すること。	該当者のみ
⑩ 推薦書	出身大学の指導教員等が作成したもの、又は研究機関等 の所属長が作成したもの。	外国人学生 のみ
⑪ 在留資格を証明する もの	日本国内に居住している者は、入国査証(Visa)の写 し、住民票の写し(市区町村長発行。記載事項の省略が 無いもの。)等を提出すること。 日本国内に居住していない者は、「入国カード」の写し又 は旅券(パスポート)等の写しを提出すること。	外国人学生 のみ
⑫ 受験票等送付用封筒	宛先を明記し、長形3号の封筒に344円分切手を貼 付すること。	全員

※出願に際しては、必ず希望する指導教員と連絡を取り出願すること。

(2) 出願方法

出願書類を「書留速達」とし、封筒の表に「保健学研究科博士前期課程出願書類在中」と朱書きし
所定の期間内に提出先に郵送してください。直接持参する場合の受付時間は、9 時 00 分から 17 時
00 分(12 時から 13 時を除く)までとします。

(3) 提出先

〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町字上原 207 番地

琉球大学 上原キャンパス事務部 (医学部)
学務課入試・学事係

☎ (098) - 895 - 1053 又は 1032

(4) 検定料振込

①検定料 30,000 円 (所定の「検定料振込書」を使用してください。)

②振込期間

令和6年8月19日(月)～8月30日(金)

③振込方法

振込は、a.銀行窓口、b.ATM又はインターネットバンキングを利用することができます。なお、振込の際には金額の誤りに十分ご注意ください。

また、振込手数料については、志願者本人負担となります。

a. 銀行窓口

・ 検定料振込書に必要事項を記入のうえ、検定料振込書に記載の「記入上の注意」をよく読み、最寄りの金融機関から振り込んでください。

・ 氏名を記入した「検定料納付証明書(大学提出用) *1」の原本を出願書類に同封して提出してください。

*1 「検定料納付証明書(大学提出用)」…検定料振込書の左端。取扱金融機関収納印が押印されていること。

b. ATM又はインターネットバンキング

※ATM 利用の場合はキャッシュカードを利用し振り込んでください。

・振込名義を必ず志願者本人にして、氏名の前に募集区分(保健学研究科博士前期課程は 441)を入力してください。

例)

4	4	1	タ	*	イ	カ	*	ク	タ	ロ	ウ
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

・ 氏名を記入した「検定料納付証明書(大学提出用) *1」の原本及び「振込日時、振込金額がわかる明細や画面コピーの写し *2」を出願書類に同封して提出してください。

*1 「検定料納付証明書(大学提出用)」…検定料振込書の左端。取扱金融機関収納印は必要ありません。

*2 「振込日時、振込金額がわかる明細や画面コピーの写し」の裏面に募集区分(保健学研究科博士前期課程は 441)・氏名を記入してください。

留意事項

ア. 検定料が振り込まれていない場合、「検定料納付証明書（大学提出用）」が出願書類に同封されていない場合、a. 銀行窓口利用で「検定料納付証明書（大学提出用）」に取扱金融機関収納印がない場合及びb. A T M又はインターネットバンキング利用で「振込日時、振込金額がわかる明細や画面コピーの写し」が出願書類に同封されていない場合は、出願書類を受理しません。

イ. 既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

①検定料を振り込んだものの、出願しなかった場合（出願書類を提出しないまま出願期間が終了したり、書類不備等により出願書類が受理されなかった場合）。

②誤って検定料を二重に振り込んだ場合。

③特例措置対象者が検定料を振り込んだ場合。

※上記①、②に該当する場合は、本募集要項添付の「返還金払戻請求書」に必要事項を記入し、払い戻しの理由を選択、「検定料納付証明書（大学提出用）」及び振込明細等を貼付して下記へ送付してください（封筒には「返還金払戻請求書在中」と朱書きしてください）。

（返還は銀行振込で行います。本人以外名義口座の場合は必ず続柄も明記してください。ゆうちょ銀行口座を指定する場合は、振込用の店名・店番・預金種目・口座番号を明記してください。返還には請求書受理後 2～3 ヶ月程度かかります。）

送付期限：令和 7 年 3 月 3 1 日（月）

送付先：〒903－0213 沖縄県中頭郡西原町字千原 1 番地

琉球大学財務部経理課収入・支出係 TEL098－895－8058

※上記③に該当する場合は（５）③の手続を行ってください。

（５）災害等による入学検定料の特例措置

琉球大学では、令和 7 年度の大学院入学選抜に関して、文部科学省より配慮依頼がある災害の被災者の経済的負担を軽減することにより、受験の機会を確保するため、以下のとおり特別措置を実施することとしましたのでお知らせします。

①措置内容

検定料の免除： 30,000 円

②免除の対象者及び必要書類

対象者	必要書類（写し）
1）災害救助法が適用されている地域のうち文部科学省から配慮依頼がある災害で被災した志願者で、以下のいずれかに該当する者	ア又はイの書類
ア 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合	罹災（りさい）証明書
イ 主たる家計支持者が死亡、又は行方不明の場合	死亡又は行方不明を証明する書類

2) 居住地が福島第一原子力発電所事故により、帰還困難区域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された者	被災証明書
---	-------

●文部科学省から配慮依頼がある災害等

- ・東日本大震災関連情報：文部科学省 HP
(https://www.mext.go.jp/a_menu/saigaijohou/)
- ・熊本県熊本地方を震源とする地震について：

文部科学省 HP (https://www.mext.go.jp/a_menu/kumamotojisin/index.htm)

- ・その他の災害：文部科学省 HP
(https://www.mext.go.jp/a_menu/sonotajisin/index.htm)

③申請の方法 申請する場合は、「検定料」を振り込まないでください。

本学所定の様式（検定料免除申請書）に、罹災証明書等を添えて、出願書類とともに同封のうえ提出してください。

④検定料を誤って納付した場合

本特例措置に該当するにも関わらず、誤って納付した検定料の返還を希望する場合は、本学所定の様式「返還金払戻請求書」に、「免除申請書」及び「罹災証明書（写し）等」を添えて下記送付先へ申請してください。申請後、検定料を返還します（払戻の理由は「4. 災害等による入学検定料の特例措置に該当」を選択）。

※返還金払戻請求書の送付期限 **令和7年3月31日（月）**

（送付先）琉球大学上原キャンパス事務部 学務課 入試・学事係

所在地 〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町字上原 207 番地

Tel 098-895-1053 又は 1032

7. 研究指導に関する事前相談

- ・出願に際しては、必ず希望する指導教員と連絡を取り、研究内容等について相談のうえ出願書類を提出してください。

8. 試験の日時及び場所

日時 **令和6年9月21日（土）**

場所 **琉球大学医学部 保健学科棟**

※台風接近が予想される際は、琉球大学医学部公式ホームページ

(<https://www.med.u-ryukyu.ac.jp/>) で通知します。

9. 選抜方法（入試科目）

（1）一般選抜・社会人特別選抜

- ・入学者の選抜は、筆記試験の成績、面接及び提出書類の総合得点により順位付けし、合格者を決定します。
- ・面接試験は出願書類等に基づいて行い、志願者の学習条件、研究意欲及び研究能力等を判断し

ます。

- ・4月入学を原則とする。ただし、特別の必要があり、かつ、教育上支障がないと認められるときは、後学期（10月）入学も行う。

科 目	時 間	備 考
英 語 試 験	9 : 0 0 ~ 1 0 : 3 0	筆記試験、辞書は英和・和英辞書の持ち込み可 (電子辞書類は不可)
専 門 試 験	1 1 : 0 0 ~ 1 2 : 3 0	小論文形式で必須科目、選択科目から1問ずつ 出題する。
面 接	1 3 : 2 0 ~	個人面接とする。(約10分)

(注1)「英語試験」については、次に該当する者は免除します。(証明書等を付与すること)

- ① 英検準1級合格者、② TOEFL : iBT 72点以上、③ TOEIC 750点以上、④ IELTS 6.0以上

※②～④について、スコアに係る証明書等は平成31年4月1日以降受験したものに限りです。

(注2) 受験者は、8 : 30までに本学保健学科棟の試験会場に集合すること。(英語試験免除者の集合時刻は出願期間終了後に別途通知します。)

(2) 外国人学生特別選抜

- ・入学者の選抜は、小論文、面接及び提出書類の総合得点により順位付けし、合格者を決定します。なお、面接試験は、出願書類等に基づいて行い、志願者の学習条件、研究意欲及び研究能力等を判断するものとします。
- ・外国人学生については、選抜に当たって語学が不利にならないように考慮するとともに、志願者の過去の学歴、業績等を十分に考慮して選抜を行います。その際、TOEFL、TOEIC等語学試験も考慮します。
- ・4月入学を原則とする。ただし、特別の必要があり、かつ、教育上支障がないと認めるときは後学期（10月）入学も行う。

科 目	時 間	備 考
小 論 文	9 : 0 0 ~ 1 0 : 3 0	英語又は日本語
面 接	1 1 : 0 0 ~	個別面接とする。(10分程度)

(注1) 受験者は、8 : 30までに本学保健学科棟の試験会場に集合すること。

10. 障がい等のある入学志願者（受験時における合理的配慮等）

障がい等を有する者、疾病・負傷等により受験上の配慮を必要とする志願者は、あらかじめ本学障がい学生支援室に「障がい等のある入学志願者の受験時における合理的配慮申請書」を郵送にて提出してください。

申請された配慮事項については、本学において検討し、その結果を「受験時における合理的配慮の検討結果通知書」により郵送にて通知します。「検討結果通知書」の受領後は、記載事項を確認のうえ同封の書類をご返送ください。

また、上記手続きには2～3週間を要します。合理的配慮の内容によっては、対応にさらなる時間を要する場合があります。事前相談は随時受け付けておりますので、早めの相談、申請書の提出をお願いします。

受験時に限らず、入学後における修学上の配慮希望については、随時相談を受け付けておりますので、以下の連絡先までご相談ください。

(1) 申請期限 令和6年8月9日(金)(消印有効)

※申請期限後の書類については、受理しませんのでご注意ください。

なお、申請期限後に不慮の事故等(交通事故、負傷、発病等)のため、受験上の配慮を希望する場合は、問い合わせ先までご相談ください。

(2) 申請方法

以下の書類を、障がい学生支援室へ「簡易書留」又は「レターパックプラス」で郵送してください。

① 「障がい等のある入学志願者の受験時における合理的配慮申請書」(本学指定の様式)

② 「医師からの意見書」(本学指定の様式)

③ その他相談する際に必要な参考資料

上記①及び②の本学指定の様式は、本学障がい学生支援室ホームページ(<https://g-support.std.u-ryukyu.ac.jp/>)「支援を希望される皆さまへ」よりダウンロードできます。

※必要に応じて、追加資料の提出を依頼することもあります。

※本学が必要と判断した場合は、志願者、保護者又はその立場を代弁し得る出身学校担当者等との面談等を行います。

問い合わせ先：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

全保連ステーション(大学会館)2階

琉球大学障がい学生支援室

電話：098-895-8750 FAX：098-895-8791

E-mail：g-support@acs.u-ryukyu.ac.jp

11. 合格者発表

令和6年10月21日(月) 14:00頃

上原キャンパス事務部学務課掲示板(がじゅまる会館2階)に掲示するとともに、琉球大学医学部ホームページ(<https://www.med.u-ryukyu.ac.jp/>)に掲載します。また、合格者へは合格通知書を郵送にて通知します。不合格者への通知は行いません。

なお、電話等による問い合わせには応じません。

12. 入学手続等

(1) 入学手続期間

令和7年3月19日(水)・21日(金)

(2) 入学料及び授業料

入学料は銀行振込です。詳細は入学手続案内で通知します。

入学料 282,000 円(予定額)

授業料(前期分) 267,900 円(年額 535,800 円)(予定額)

(注) ①上記については予定額であり、入学時及び在学中に金額の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

②授業料については、本人の申し出により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。

③琉球大学には入学料の免除又は徴収猶予、あるいは授業料の全額又は半額を免除する制度があります。対象者については、合格者に送付する「入学手続案内」で詳しく説明します。

また、所定の免除申請手続きを行うことにより、免除又は徴収猶予の可否が決定されるまでの間、入学料又は授業料の徴収を猶予します。

入学手続きの詳細については、別途合格者に対して「入学手続案内」を送付します。

13. 安全保障輸出管理

琉球大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて、「国立大学法人琉球大学安全保障輸出管理規程」を定め、技術の提供及び貨物の輸出の観点から外国人留学生の受入に際し、厳格な審査を実施しています。

規制されている事項に該当する場合は、希望する教育・指導が受けられない場合や、希望する研究活動に制限がかかる場合があるため、外国人留学生の方はなるべく出願前に指導を受けようとする教員と連絡を取るようになしてください。

14. 修学のための諸制度

(1) 長期履修制度

本制度は、「職業を有している等の事情」のある学生(家事従事者又は育児に当たっている者も含む)を対象に標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することができ、かつ、その間の授業料の軽減を図るため、申請に基づき、当該研究科において審査し、最長4年間の修業年限で在学し計画的に課程を修了することにより学位を認める制度です。

希望者は、事前に指導教員と研究計画について相談し、職業を有する者は、長期履修制度の利用にあたっては、各自で勤務先の内諾等を得るようになしてください。

(2) 奨学金制度

日本学生支援機構の奨学金(貸与型)は、下記の方法で申し込みができます。詳細は琉球大学学生生活支援情報 HP「奨学金」ページをご覧ください(下記 URL 参照)。

①予約採用

大学院に進学する前に、事前に申請を受け付けます。

募集期間 9月下旬～12月中旬

申込方法 9月中旬に琉球大学学生生活支援情報 HP で周知

②定期採用

大学院に入学後に、毎年度申請を受け付けます。

募集期間 (春募集) 入学～4月下旬 (秋募集) 9月中旬～10月中旬

申込方法 春募集は3月下旬、秋募集は9月中旬に琉球大学学生生活支援情報 HP で周知

<問い合わせ先>

学生部学生支援課学生援護係(奨学金担当) 電話 : 098-895-8136

E-mail : gksygsn@acs.u-ryukyu.ac.jp

学生生活支援情報 HP : <https://slsi.skr.u-ryukyu.ac.jp/gksien/>

(3) 入学料及び授業料の免除制度

「入学料免除・徴収猶予」及び「授業料免除」制度があります。詳細は、合格者に送付する「入学者心得」の際にお知らせします。

<問い合わせ先> 学生部学生支援課学生援護係 電話 : 098-895-8135

15. 個人情報の取扱い

本研究科が入学者選抜を通じて取得した個人情報については、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用します。

- (1) 合格者の氏名等を入学手続きに関わる業務で利用します。
- (2) 入学手続き者の氏名等を入学後の学籍管理等、修学に関わる業務で利用します。
- (3) 入学手続き者及び学資負担者の住所・氏名等を授業料徴収など納入管理に関わる業務で利用します。
- (4) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を、入学料免除・授業料免除及び奨学生遠考など、修学支援に関わる業務で利用します。
- (5) 出願書類の不備等がある場合、その訂正・補完を速やかに行っていただくため、本学を受験されること及び出願書類に不備等があることを、保護者又は勤務先等に通知する場合に利用します。
- (6) 個人が特定できないように統計処理したデータを、入学者選抜に関する調査・研究などに利用します。

※本研究科が入学者選抜を通じて取得した個人情報は、上記及び個人情報の保護に関する法律第18条、第27条及び第28条に規定されている場合を除き、本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

16. 2次募集

合格者が募集人員に満たない場合は、次の期日に第2次募集を行います。

※出願手続、選抜方法等は、第1次募集に準じます。

(1) 出願期間及び手続

出願期間 令和7年1月20日(月)～1月24日(金)

受付時間 9:00～17:00

検定料振込期間 令和7年1月14日(火)～1月24日(金)

※出願書類を「書留速達」とし、封筒の表に「保健学研究科博士前期課程出願書類在中」と朱書きし所定の期間内に提出先に郵送してください。

(2) 個別入学資格審査申請の締切

書類提出期間 令和6年12月9日(月)～12月13日(金)

提出先 P8提出先と同じ

結果通知 令和7年1月上旬に本人宛に通知

(3) 障がい等のある入学志願者(受験時における合理的配慮等) 申請期限

令和6年12月27日(金)(消印有効)

(4) 学力検査等期日

令和7年2月17日(月)

(5) 合格者の発表

令和7年3月13日(木) 14:00頃

(6) 入学手続期間

令和7年3月19日(水)・21日(金)

17. 問い合わせ先

〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町字上原 207 番地

琉球大学 上原キャンパス事務部(医学部)

学務課入試・学事係

☎(098)-895-1053 又は 1032

18. 入試統計(志願者数、合格者数等)の公開

入試に関する統計を以下より公開しています。

https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/passed/#graduate_school_etc_examination

19. 過去問の開示

受験希望者の方のために、前年度の入試問題を閲覧公開しています。

閲覧時間：9:00～17:00 （12:00～13:00 を除く）

閲覧場所：上原キャンパス事務部学務課事務室（がじゅまる会館 2 F）

閲覧に必要なもの：身分証等

閲覧方法：複写（コピー等）や写真撮影は禁止します。

令和7年度

「アジア太平洋地域の近未来的実践公衆衛生人材・育成プログラム(特別プログラム)」

1. プログラムの概要

本特別プログラムは生活習慣病と感染症の二重構造や貧困問題といった沖縄と同様な環境を持ち、交流実績のある東南アジア・太平洋諸国を中心に保健医療関係者を受け入れ、直接、自国の公衆衛生の改善に寄与できる人材育成を行います。現在と過去の沖縄の保健医療における問題点とその解決策や、開発途上国に適した技術を総合的に修得できる点に特色があります。

また本特別プログラムをとおして、独立行政法人国際協力機構(JICA)と連携した外国人留学生(研修員)受入プログラムを実施してきましたが、本特別プログラムを基盤に JICA 開発大学院連携プログラムとして強化し、令和3年10月より開始しています。

2. 対象とする地域・国

東南アジア・太平洋を中心とした開発途上国(特にラオス・ベトナム・フィリピン等)

3. 募集人員

	外国人留学生・日本人学生
博士前期課程	若干名
博士後期課程	若干名

4. 入学の時期 令和7年10月

※詳細は琉球大学保健学研究科ホームページをご覧ください。(令和6年7月以降 掲載予定)

21. 研究指導教員一覧

教育研究 領 域	教育研究分野	指導教員 メールアドレス (ダイヤルイン)	研 究 課 題 内 容
人 間 健 康 開 発 学	学 校 保 健 学	喜 屋 武 享 akyan@ (1263)	1. 子ども・青少年における健康の社会的決定要因に関する研究 2. 子ども・青少年における健康格差の是正要因の解明 3. ヘルスプロモーションスクールに基づいた学校保健の再構築
	精神保健看護学	未 定	
	母 子 看 護 学	未 定	
	在 宅 看 護 学	関 口 浩 至 hiroshis@ (1274)	1. 沖縄の在宅療養者の災害対策に関する研究 2. 医療介入が必要な在宅療養者に対する訪問看護の体制構築に関する調査研究 3. 呼吸ケアを受ける呼吸器疾患患者の努力呼吸に関する研究 4. 在宅ケアと救急医療との連携に関する研究 5. 計量テキスト分析法を用いた質的データ分析に関する研究
	高 齢 期 看 護 学	東恩納 美樹 miki51@ (1265)	1. 転倒転落リスクアセスメントに関する研究 2. 看護提供方式と入院患者の健康アウトカムに関する研究
	がん・緩和看護学	照 屋 典 子 teruya@ (1272)	1. がん患者の療養支援、意思決定支援に関する研究 2. 終末期ケア、看取りに関する研究 3. 在宅緩和ケアに関する研究 4. 学校におけるがん教育に関する研究
	生体情報解析学	栗田 久多佳 awata@ (1254)	1. 人体の代謝機能と健康長寿に関する研究 2. カルシウム代謝に関する研究 3. 腎疾患と免疫に関する研究
	生 体 代 謝 学	原嶋 奈々江 nanaeh@ (1277)	1. 抗腫瘍治療薬抵抗性獲得の機序とその克服に関する研究 2. 亜熱帯植物由来の抗酸化物質とその抗腫瘍効果に関する研究 3. 低酸素誘導因子と抗腫瘍免疫応答に関する研究 4. がん微小環境制御とT細胞応答に関する研究
	生 体 機 能 学	中 尾 浩 史 hnakao@ (1251)	1. 菌の鉄獲得機構に関する研究 2. 細菌性食中毒予防に関する研究

※ メールアドレスの後に「med.u-ryukyu.ac.jp」を入力してください。

※ ダイヤルインの前に「098-895-」を付してください。

教育研究 領 域	教育研究分野	指導教員 メールアドレス (ダイヤルイン)	研 究 課 題 内 容
国 際 島 嶼 保 健 学	生 物 統 計 学	米 本 孝 二 yonemoto@ (1779)	1. 医学・保健学研究における生物統計手法の研究 2. 生物統計を駆使した医学・保健学研究
	国際地域保健学	小 林 潤 junkoba@ (1271)	開発途上国及び沖縄をフィールドにした以下の保健学的研究 1. 子供と女性(学校保健、思春期保健、母子保健)に関する政策研究と フィールド研究 2. 貧困へき地及び太平洋島嶼地域における地域保健研究 3. 動物媒介性感染症に関する対策研究 4. 難民移民、高齢化社会に対する保健学的研究
	環 境 保 健 学	野 中 大 輔 nonakad@ (1666)	社会環境、家庭環境、地域の環境などの環境が人々の健康に及ぼす影 響やメカニズムを明らかにする研究や環境の改善に働きかけることによ って、疾病予防やヘルスプロモーションを目指す研究・ヘルスコミュニケー ションに関する研究 1. 社会的な環境(社会問題、文化、医療等の社会サービスの在り方、政 策など)と疾病の発生や予防・健康行動との関連を分析し対策を立案す る研究 2. 家庭環境(親子関係、世帯の貧困、家屋構造など)と疾病の発生や予 防・健康行動との関連を分析し対策を立案する研究 3. 物理的な環境(安全な水、トイレ、医療施設、食料品店、運動施設、感 染予防資材などが身近に利用できること・騒音等の曝露)と疾病の発生や 予防・健康行動との関連を分析し対策を立案する研究 4. ヘルスリテラシーに関連する因子の解明やヘルスコミュニケーション の改善を目指した研究
	地 域 看 護 学	當 山 裕 子 touyamyk@ (1275)	1. 地域住民の健康課題に対応する看護職の実践に関する研究 2. 地域保健・地域ケアシステムに関する研究 3. 保健師の人材育成に関する研究 4. 沖縄の駐在保健婦の活動に関する研究
	基 礎 看 護 学	豊 里 竹 彦 toyosato@ (1261)	1. 看護師のワークライフバランスに関する研究 2. 看護師の健康指標と心理社会的環境要因に関する研究 3. 看護実践におけるエビデンス構築に関する研究 4. 死生観とターミナルケアに関する研究 5. 開発途上国における看護教育に関する研究
	女性保健看護学	遠 藤 由 美 子 eyumi@ (1269)	1. 生涯を通じた女性の健康に関する研究 プレコンセプションケア、更年期以降の女性の不定愁訴 2. 祖父母の育児支援促進に関する研究 3. 看護職の労働環境と健康(不定愁訴)に関する研究
	血 液 免 疫 学	福 島 卓 也 fukutaku@ (1276)	1. 成人T細胞白血病・リンパ腫に関する分子生物学的研究 2. 成人T細胞白血病・リンパ腫に関する臨床病態の解析 3. 沖縄県のHTLV-1キャリアに関する研究
	保 健 微 生 物 学	平 井 到 hiraii@ (1250)	1. 東南アジア諸国における抗生剤耐性細菌の発生・分布に関する分子 微生物学的・分子疫学的解析 2. 医療機関における抗生剤耐性菌の分布に関する分子微生物学的解析 3. 次世代シーケンサーを使った細菌解析法の開発
	形 態 病 理 学	金 城 貴 夫 kinjotko@ (1278)	1. 沖縄県のウイルス性疾患の病理学的検討と分子生物学的解析 2. 沖縄県の肺癌の組織像や分子生物学的特徴について 3. 扁平上皮化生誘導の機構に関する研究

※ メールアドレスの後に「med.u-ryukyu.ac.jp」を入力してください。

※ ダイヤルインの前に「098-895-」を付してください。

令和 7 年度
琉球大学大学院保健学研究科(博士前期課程)入学志願票

前

出 願 区 分		一般	該当するものに○をつけること	受験 番号	*
		社会人			
		外国人留学生			
フリガナ					国 籍 名 (外国籍を持つ者)
氏 名 (自 筆)					
生年 月 日 いずれかに ○をつける		昭和	年 月 日生(満 才) (令和7年4月1日現在)	性 別	
		平成			
志望 専門 領域・分野			領域	分野	
出 願 資 格	立 大学・学校 学部 学科 年 月卒業(見込)				
現 住 所	〒 TEL () E-mail				
緊急連絡先	氏 名 現住所	〒 TEL ()		志願者との続柄 ()	

【備考】

- (1) 様式をホームページからダウンロードし、入力・プリントアウトした書類も認めます。
- (2) 手書きの場合は、必要事項を黒のボールペン(フリクションインクを使用した消せるボールペンは禁止)を用いて、楷書で正確に記入すること。
- (3) *印欄は記入しないこと。
- (4) 住所欄は、通知・照会等を確実に受けることができる場所を記入してください。

検定料納付証明書(大学提出用)貼付欄

各種銀行の受付窓口で検定料を振り込んだ後、検定料納付証明書(取扱銀行収納印が押印されていることを確認)をここに貼付してください。

履 歴 書					
出願区分		一般	該当するものに○をつける こと	受験 番号	*
		社会人			
		外国人留学生			
外 学 国 人 歴 学 生 （ 高 等 小 学 校 卒 校 卒 業 か 業 ら 以 上 ）	年 月 日		事 項		
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
卒業論文名					
職 歴	年 月 日		勤 務 先		
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
研 究 歴	年 月 日		研 究 先		
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
上記のとおり相違ありません。					
令和 年 月 日 氏名					

※職歴等記載欄が足りない場合は、別紙(A4、様式自由)を作成してください。
※職歴は、これまでの履歴すべてを記入してください。

琉球大学大学院保健学研究科(博士前期課程)受験票

前

出 願 区 分		一般	該当するものに ○をつけること	国籍名(外国籍を持つもの)	
		社会人			
		外国人留学生			
受 験 番 号	*			写真貼付	
フ リ ガ ナ				正面向き、上半身脱帽、 3 か月以内に撮影したもの 写真の裏に氏名を明記 縦4cm×横3cm	
氏 名 (自 筆)					
受 験 科 目	英 語	辞書の持ち込み可(電子辞書類は不可)			
	専 門 (志望領域・分野)	領域	分野		

※外国人学生の受験科目は、小論文、面接です。

【備考】

- (1) 様式をホームページからダウンロードし、入力・プリントアウトした書類も認めます。
- (2) 手書きの場合は、必要事項を黒のボールペン(フリクションインクを使用した消せるペンは使用禁止)を用いて、楷書で正確に記入すること。
- (3) *印欄は記入しないこと。

点線に沿って折りたたみ、裏面に糊付してください

*欄は記入しないこと

保健学科棟	外国人学生	面接	11:00～
		小論文	9:00～10:30
	一般・社会人	面接	13:20～
		専門試験	11:00～12:30
		英語試験	9:00～10:30
場 所	科 目		*期 日
	時 間		

- (1) 受験者は試験開始30分前までに、試験会場に集合すること。
- (2) 試験開始後30分以上遅刻した者は、受験できない。
- (3) 不正行為のあった者は、直ちに退場を命ずる。
- (4) 受験に際しては、本受験票を必ず持参すること。

受 験 者 心 得

【受験票裏面】

琉球大学大学院保健学研究科(博士前期課程)写真票

前

出 願 区 分		一般	該当するものに ○をつけること	国籍名(外国籍を持つもの)
		社会人		
		外国人留学生		
受 験 番 号		＊		写真貼付 正面向き、上半身脱帽、 3 か月以内に撮影したもの 写真の裏に氏名を明記 縦4cm×横3cm
フリガナ				
氏名(自筆)				
受験科目	英 語	辞書の持ち込み可(電子辞書類は不可)		
	専 門 (志望領域・分野)	領域	分野	

＊印欄は記入しないこと。

出欠確認欄	出 ・ 欠
-------	-------

点線に沿って折りたたみ、裏面に糊付してください

受験承諾書(一般・社会人)

(他の大学院に在学している者、在職のまま、本研究科に受験し、入学しようとする者)

職 名

氏 名
(自 筆)

上記の者が、貴大学院保健学研究科(博士前期課程)を受験することを承諾します。

令和 年 月 日

所 名

所 属 長



琉球大学大学院保健学研究科長 殿

(注)様式をホームページからダウンロードし、入力・プリントアウトした書類も認めます。

(注)手書きの場合は、必要事項を黒のボールペン(フリクションインクを使用した消せるボールペンは禁止)を用いて、楷書で正確に記入すること。

振込上の注意

- 様式をホームページからダウンロードし、入力・プリントアウトした書類も認めます。
- 手書きの場合は、※印欄を黒のボールペン(フリクションインクを使用した消せるボールペンは禁止)を用いて、楷書で正確に記入すること。
- 依頼日、入学志願者氏名(フリガナ)、住所、電話番号、振込先(枠内に○印)
- 必ず金融機関(銀行等)の窓口で振り込み、ATM(現金自動預払機)は使用しないでください。
- 振込手数料については、志願者本人負担となります。
- 金融機関窓口から「検定料納付証明書(大学提出用)」を受け取る際は、取扱金融機関収納印が押印されているか確認してください。
- 「検定料納付証明書(大学提出用)」は入学志願票の「検定料納付証明書貼付欄」に貼り付けて提出してください。
- 以下の「検定料振込書」が使用できない場合は、各金融機関に備え付けの「振込依頼書」で振り込んでください。その後、振込依頼書の控え(写し可)及び氏名を記入した「検定料納付証明書(大学提出用)」の原本を出願書類に同封して提出してください。振り込みの際は、振込人氏名(志願者本人)の前に必ず募集区分(441)を付してください。

検 定 料 振 込 書

保健学研究科(博士前期課程)

(振込前に志願者で切離し)

検定料納付証明書(大学提出用)

入学志願票の「検定料納付証明書貼付欄」に貼り付けて提出してください。

※依頼日		年 月 日	
金 額		¥30,000-	
※振込先	行い に○ れを かす の銀	琉球銀行 宜野湾支店(普通)	428711
		沖縄銀行 我如古支店(普通)	1540366
		沖縄海邦銀行 真栄原支店(普通)	563358
		みずほ銀行 那覇支店(普通)	1478859
(※依頼者)	※募集 区分	441	
	(フリガナ)		
	氏 名		
令和7年度 琉球大学検定料 保健学研究科博士前期課程			

(大学提出時に切離し)

振込金(兼手数料)領収書			手 数 料	
※依頼日		年 月 日		
振 込 金 額				円 ¥300000
※振込先	行い に○ れを かす の銀	琉球銀行宜野湾支店(普通)		428711
		沖縄銀行我如古支店(普通)		1540366
		沖縄海邦銀行真栄原支店(普通)		563358
		みずほ銀行那覇支店(普通)		1478859
受取人 口座名		国立大学法人 琉球大学		
※依頼人 (志願者)	(フリガナ)			
	氏 名			
令和7年度 琉球大学検定料 保健学研究科博士前期課程				

上記のとおり領収しました

(振込時金融機関で切離し)

振 込 依 頼 書

電信扱

勘定科目			
※依頼日		年 月 日	
※振込先	行い に○ れを かす の銀	琉球銀行宜野湾支店(普通)	428711
		沖縄銀行我如古支店(普通)	1540366
		沖縄海邦銀行真栄原支店(普通)	563358
		みずほ銀行那覇支店(普通)	1478859
口座取 名 人		コクリツダ イガクホジシ ヲウキョウダ イガク 国立大学法人 琉球大学	
(※依頼者)	※募集 区分	441	※ フリガナ
	※ 氏 名		
	※(住所)		
備 考	令和7年度 琉球大学検定料 保健学研究科博士前期課程		取扱金融 機関 収納印
	【振込期間】		
	1次 募集	令和6年8月19日(月) ~令和6年8月30日(金)	
	2次 募集	令和7年1月14日(火) ~令和7年1月24日(金)	

取扱店へお願い

○太枠内を打電してください。
○募集区分、フリガナの順に打電してください。

(取扱店用)

(取扱店→振込人→大学)

(取扱店→振込人)

研究計画書（博士前期課程）

氏名（自筆）

琉球大学大学院保健学研究科

（注）下記事項について、記入すること。

- 1 研究スケジュールについて
- 2 これまでの研究について
- 3 今後希望する研究について

（注）様式をホームページからダウンロードし、入力・プリントアウトした書類も認めます。

（注）手書きの場合は、必要事項を黒のボールペン（フリクションインクを使用した消せるボールペンは禁止）を用いて楷書で正確に記入すること。

受験番号

業績報告書（博士前期課程）

氏名（自筆）

論文名及びその概要を以下にまとめること。

琉球大学大学院保健学研究科

(注) 様式をホームページからダウンロードし、入力・プリントアウトした書類も認めます。

(注) 手書きの場合は、必要事項を黒のボールペン（フリクションインクを使用した消せるボールペンは禁止）を用いて楷書で正確に記入すること。

受験番号

志願理由書（博士前期課程）

氏名（自筆）

琉球大学大学院保健学研究科

(注) 様式をホームページからダウンロードし、入力・プリントアウトした書類も認めます。

(注) 手書きの場合は、必要事項を黒のボールペン（フリクションインクを使用した消せるボールペンは禁止）を用いて楷書で正確に記入すること。

Letter of Recommendation

TO: Dean
 Graduate School of Health Sciences
 University of the Ryukyus

Applicant: Full Name: _____
 Date of Birth: _____ Sex: _____
 Nationality: _____

(If you need more space, please use separate sheet)

Recommender:
Signature: _____
Name in Print: _____
Relationship with Applicant: _____

Title or Position: _____

Institution or Organization: _____

Address: _____

Telephone or Fax Number: _____

Date: _____
 (Month) (Day) (Year)

令和 7 年度琉球大学大学院保健学研究科
(博士前期課程) 入学試験出願資格認定申請書

受験番号	※
------	---

保健学研究科長 殿

貴大学院保健学研究科(博士前期課程)入学試験に出願を希望します。

ついては、出願資格の認定を受けたいので、所定の書類を添えて申請いたします。

令和 年 月 日

フリガナ

氏 名
(自 筆)

(生年月日) 年 月 日 生

志望専門領域・分野	領域	分野
-----------	----	----

現 住 所	〒
-------	---

TEL() ー

出身医療系及び関連の短期大学等名	大学
------------------	----

年 月 卒業 ・ 修了

(出願資格認定用)

令和7年度琉球大学大学院保健学研究科
(博士前期課程) 入学試験出願資格認定履歴書

フリガナ
氏 名
(自筆)

学 歴	年・月	立				高等学校卒業
	・					
	・					
	・					
	・					
	・					
職 歴	・					
	・					
	・					
	・					
	・					
	・					
	・					
	・					
	・					
	・					
免許・資格等名取得年月 (免許番号)		年 月 ()	年 月 ()	年 月 ()	年 月 ()	

注：1. 学歴・職歴は、高等学校卒業以降について記入してください。
2. 記入欄が不足の場合は、別紙に記入してください。
3. 様式をホームページからダウンロードし、入力・プリントアウトした書類も認めます。
4. 手書きの場合は、必要事項を黒のボールペン(フリクションインクを使用し消せるボールペンは禁止)を用いて、楷書で正確に記入すること。

(出願資格認定用)

志 望 理 由 書

フリガナ

氏 名

(自 筆)

1. 琉球大学大学院保健学研究科(博士前期課程)を志望した理由

(注)様式をホームページからダウンロードし、入力・プリントアウトした書類も認めます。

(注)手書きの場合は、必要事項を黒のボールペン(フリクションインクを使用した消せるボールペンは禁止)を用いて、楷書で正確に記入すること。

フリガナ

氏 名
(自 筆)

2. 博士前期課程での学習に必要な学力を有していると考えた点

(注) 様式をホームページからダウンロードし、入力・プリントアウトした書類も認めます。

(注) 手書きの場合は、必要事項を黒のボールペン(フリクションインクを使用した消せるボールペンは禁止)を用いて、楷書で正確に記入すること。

(出願資格認定用)

令和7年度琉球大学大学院保健学研究科
(博士前期課程) 入学試験出願資格認定論文一覧

フリガナ

氏 名

(自筆)

○申請者のこれまでに作成した論文の一覧

論文名及び著者名	誌名等(巻・号・頁)	発表年月	論文添付

※裏面「記入例」参照のこと。

(注) 様式をホームページからダウンロードし、入力・プリントアウトした書類も認めます。

(注) 手書きの場合は、必要事項を黒のボールペン(フリクションインクを使用し消せるボールペンは禁止)を用いて、楷書で正確に記入すること。

(出願資格認定用)

令和7年度琉球大学大学院保健学研究科
(博士前期課程)入学試験出願資格認定論文一覧

フリガナ リュウキュウタロウ
氏 名 琉 球 太 郎
(自筆)

○申請者のこれまでに作成した論文の一覧

論文名及び著者名	誌名等(巻・号・頁)	発表年月	論文添付
出産後における骨密度の変化 (沖縄 花子、 <u>琉球 太郎</u>)	母性衛生 10巻、4号、414～420頁 (分担分：資料収集・分析)	平成11年12月	有
Hypocholesterolemic effect of long-term continuous administration of 2-methoxyestriol in dietary hypercholesterolemic rats (Hanako Okinawa, <u>Taro Ryukyu</u>)	J.Clin.Biochem.Nutr.6,49-56 (分担分：動物飼育管理と生化学的 分析)	2000, 6	有
サーモグラフィによる皮膚表面温度からみた ラベンダー臭気吸入の自律神経への作用 (<u>琉球 太郎</u> 、沖縄 花子)	Biomed. Thermology 21(3), 108-112 (分担分：サーモグラフィによる皮膚 表面温度の測定を分析)	2001, 12	有

注：1. 論文名は、10編以内を記入のこと。

2. 主な論文を 1 編以上 3 編までを添付し、論文添付欄に「有」と記入のこと。

3. 研究論文は、既発表のもので施設内発表のものでも可。連名で作成された論文の場合は、申請者の担当部分を明記すること。

※受験番号：
(大学院保健学研究科入試用)

検定料免除申請書

令和 年 月 日

琉球大学長 殿

(請求者)

出願研究科 保健学研究科 (博士前期課程) 保健学専攻

フリガナ
志願者氏名 _____

住 所 〒 _____

電 話 _____

災害救助法が適用されている地域のうち文部科学省から配慮依頼がある災害において、下記のとおり被災しましたので、罹災証明書等を添付の上、検定料の免除を申請します。

記

被災状況 (該当箇所にチェックしてください。)

- ☐全壊 ☐大規模半壊 ☐半壊 ☐流出 (罹災証明書を添付)
- ☐学費負担者死亡又は行方不明 (死亡又は行方不明を証明する書類を添付)
- ☐福島第一原子力発電所事故による避難区域等 (被災証明書を添付)

返還金払戻請求書

琉球大学長 殿

請求者
〒
住 所
フリガナ
氏 名
電話番号

私が令和 年 月 日に納付した検定料 円について、以下の理由により払い戻しを請求します。

- 誤納
- 出願辞退 ※受験辞退ではなく、出願しなかった方が対象です。
- 書類不備等による出願書類の不受理
- 災害等による入学検定料の特例措置に該当
- その他()

次の銀行口座へ振り込んでください。

フリガナ				保護者名義の 場合の続柄
口座名義				
取引金融機関名 本・支店名	銀 行		支 店	
預金種別	1 普 通 2 当 座			
口座番号	(店 番)		(口座番号)	

預金種別欄は、該当項目番号を○で囲んでください。

[注意]

- ※ 請求者は志願者本人としてください。
- ※ 保護者等、請求者以外の口座名義を指定する場合は、続柄も記入してください。
- ※ ゆうちょ銀行口座へ振り込を受ける場合は、振込用の店名・店番・預金種目・口座番号が必要です。振込用の店名・店番・預金種目・口座番号が分からない場合は口座を開設したゆうちょ銀行へご確認ください。
- ※ 封筒には「返還金払戻請求書在中」と朱書きしてください。
- ※ 返還には請求書受理後2～3ヶ月程度かかります。

送付先 〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
琉球大学財務部経理課収入・支出係
TEL:098-895-8058

取扱金融機関収納印が押印された
検定料納付証明書(大学提出用)
をこの枠内に貼り付けのうえ、ご提出
ください。

※払戻理由のうち、4. 災害等による
入学検定料の特例措置に該当を
選択された場合は、貼り付け不要
です。

※各金融機関備付の振込依頼書で
振り込んだ場合は、受領書を同封
ください。